

本所今昔物語 本所と水(4)

「本所と水」で連載している水利施設が江戸時代に建設されていることから時代背景を知らないと理解し難い部分がありますのでここで一旦歴史について触れてみたいと思います。

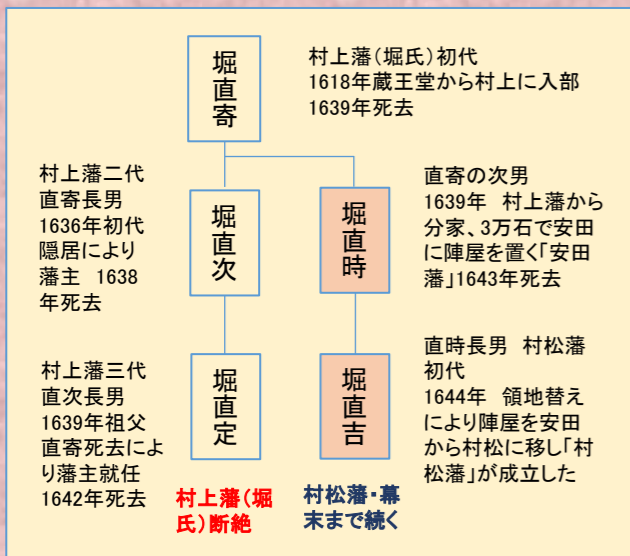
資料として村上市史、村松町史、見附市史から引用しています。

1589年上杉景勝が越後を去り、代わりに堀秀治が入部し、越後は堀一族と与力大名によって統治されます。

悲劇の村上藩堀氏の系譜

資料が乏しいのですが見附は村上藩(村上氏)の支配を受け、その村上氏が1618年に改易され、その後に蔵王堂(長岡)から掘直寄が10万石で転封されます。このとき領地として見附が記載されていて村上藩(堀氏)の支配を受けたことが明確になっています。

堀氏の家系図は下図のとおりで後継者が早くに亡くなるなどで25年で本家が消滅してしまいます。初代藩主の長男(直次)が父よりも早く亡くなってしまったことが一番の悲劇ですが、更に初代直寄の死後藩主となった直定が1642年幼少で亡くなったことで幕府から「無嗣断絶」の処分を受けて改易されるという悲劇に見舞われます。



直次の死から5年間で4人の藩主が亡くなるという希な状態が起きたのです。

村松藩の成立

藩主堀直寄は遺言で、次男直重(後改名して直時)に2万石を与えて分家させるようにと重臣に命じました。直寄が隠居して直次が二代藩主に就任しますが、1638年に25歳で亡くなり、更に翌年、直寄が63歳で世を去ります。直次の長男千介(直定)が4歳で藩主に就任する際に幕府から3万石の加増があり、幕府は直時に3万石を与えて独立することを許可しました。このときの領地に見附が含まれています。

ただ、この中に「村松」は含まれず、代わりに阿賀野川対岸の安田が入っていてここに陣屋を置くことを命じられました。短期間ではありますがここに「安田藩」が成立します。

直時は1643年に28歳で世を去り、長男の直吉が二代目藩主に就任します。1644年安田と村松との領地替えが行われて陣屋を村松に移し「村松藩」が正式に成立しています。

従って見附町の支配体制は、村上藩(村上氏)、村上藩(堀氏)、安田藩、村松藩と推移してきたこととなります。



村松城跡 維新後、水濠と土塁だけ残ったが村松町が昭和54年から8年をかけて復元と公園化を行って「城跡公園」として整備した。(敷地内には「五泉市村松郷土資料館」があり藩政時代の資料が展示されている。)

村松藩の領地と財政

村松藩の領地は村松、加茂七谷、下田、見附で大部分が山間地で収入に乏しい藩でした。村松町史によれば、本家村松藩自体が多額な借金を背負っていて、分家する際に4千両を分担するということがありました。更に本家が断絶になった際に本家の旧臣を多く召し抱えたことで必要以上の禄の支払いが発生し藩成立当初から財政的な課題を多く抱えました。記録では、旧臣を召し抱えた人数は1640~1663年までに203人に及ぶそうで、藩の創設時期にも重なるので全てが余剰雇用とは言えないものの小規模藩での家臣増加は長年に渡って藩財政に負担となりました。

時代が下っても村松藩は幕府からの諸役を命じられることが多く更に財政が逼迫していきます。このようなことから村松藩の年貢は周辺他藩よりも高く、また、幕府から諸役を命じられると度々領民に諸用金を命じるなどその付けは領民に向かいます。米、野菜等の生産物は勿論大工などへの課税など取れるものには何でもと言った有様でした。このような重税に耐えきれず1807年に全藩一揆が発生するなど当時の本所村の人達も大変苦しめられたと思われます。

発行元

新潟県見附市「本所1丁目町内会」
担当 野水英男 Tel.62-1542

かたくり

町内会だより
本所1丁目

2022年
(令和4年)

12
月号



町内会の活動状況について

町内会の中間決算がまとまりましたのでご報告させていただきます。

町内会中間決算書 2022.9月末現在

収入科目	予算額	執行済額
1. 前期繰越金	560,355	560,355
2. 町内会費	4,800,000	3,925,288
3. 事業所寄付金	92,000	0
4. 防犯灯補助金	360,000	184,000
5. 雑収入	20	10
合計	5,812,375	4,669,653

支出科目	予算額	執行済額
1. 事業費	1,776,000	774,182
(1)防犯灯費	700,000	266,310
(2)会館委託費	800,000	400,000
(3)コミュニティ 広場費	76,000	69,347
(4)まちづくり費	200,000	38,525
2. 会議費	320,000	21,682
3. 備品費	50,000	25,080
4. 事務費	225,000	103,398
5. 区活動費	605,000	602,000
6. 団体助成	360,000	360,000
(1)子供会	120,000	120,000
(2)消防団	50,000	50,000
(3)親和会	190,000	190,000
7. 報償費	880,000	0
8. 予備費	288,375	3,266
9. 会館修繕積立金	1,200,000	0
10. 自治会保険料	108,000	100,660
合計	5,812,375	1,990,268

町内会役員を公募します

4月号で掲載いたしました表記について再度募集させていただきます。

本所1丁目町内会では三役(会長・副会長)を公募いたします。現三役の在任期間が三期9年を超えることから、そろそろ次代の人材から新しい本所1丁目町内会を運営して頂きたいと考えております。

性別、年齢、本所での居住年数などは問いません。真に本所の将来を考え行動出来る方を歓迎いたします。

関心をお持ちの方は会長・副会長又は広報担当までご一報下さい。なお、任期の開始は令和5年4月を予定しておりますが4年度途中からでも各自のご都合に合わせてと思います。

佐野会長(080-1037-8654) 吉岡副会長(63-0389)
星野副会長(62-4569) 野水広報担当(62-1542)

町内会からのお知らせ

今後の町内会主催事業について

○朝日野宮神社二年詣りにおける「甘酒の振る舞い」を中止します。

○町内会主催新年会を中止します。

いずれもコロナ禍のためご理解をお願いいたします。なお、12月10日(土)に予定されている町内会役員会は予定通り実施致します。

「ごみ出しルール」の徹底を

資源ごみを含めた「ごみ出し」に関してルールが徹底されず区長さんなどに苦情が持ち込まれる案件が増えています。

主なもので「曜日違い」「出せないごみを出す」「分別が出来ていない」など。

市役所配付の『ごみカレンダー』を今一度ご覧になってルールどおりにごみ出しをされるようお願いいたします。

ほっこり

1区の市道脇に9月末から写真のように「銀杏」を無料提供したいという主旨の置物がありました。最初はもっと沢山ありましたが希望者が持ち帰られて残りわずかになりました。「ほっこり」した気持ちになりました。ここの市道両側100m程は周辺の方が花の植栽、落ち葉の清掃等何時も綺麗に維持されています。

銀杏提供もこれに参加されている方ではないかと思えます。綺麗な環境を維持して下さってありがとうございます。爽やかな気持ちで歩道を通りさせてもらっています。



秋の日は釣瓶落とし



笑福亭「鶴瓶」は有名ですが「釣瓶」を実際に使った人は少数派になってしまい、諺も理解し難いと思います。秋の日が急速に暮れる様を、井戸の中に釣瓶を落とすようだと言ったものです。稲刈りが終わった田んぼから見附高校方向に沈もうとする夕日を撮影しました。

遠くに出かけなくても少し郊外に出てみるだけでこのような景色が見られる、本所は便利だけではなく自然も豊かな場所ですね。

少し疎らな雲がある日の夕方郊外に足を伸ばして見ませんか。

本所人(ほんじょじん) 佐藤 真 さん

今回の本所人は1区で佐藤整骨院を営まれている佐藤真(さとうまこと)さんです。



佐藤さんは葛巻1丁目のご出身で48歳、平成31年に本所住民となりました。

(質問) 現在地に移転された理由は何ですか。

(答え) 自宅が老朽化したことと事業の場所が借家だったからです。

(質問) このお仕事を選択された動機は。

(答え) 高校の部活で怪我を負い、病院で治療とリハビリを受けた経験からかも知れません。

(質問) 学生スポーツ選手が佐藤整骨院に体の調整に訪れるそうですが、その選手の話では佐藤先生が県内の学生スポーツについて非常に詳しいと聞きました、スポーツ傷害などに特別な思いがあるのではないですか。

(答え) 柔道整復師の資格の他にスポーツトレーナーの資格を持っていて、県内で行われる国体やインターハイなど様々な競技でスポーツボランティアをしてきたからだと思います。そんなことから色々な競技で怪我をして来院される選手、親御さん、指導者さんと繋がりを持つことが出来て有りがたいと思っています。自分の技術には未熟なところがあると思うので、一生勉強ということを頭に置き、技術を磨いて精進したいと思います。

(質問) この仕事をしていて良かったと思うことはありましたか。

(答え) 患者さんから「良くなった」「楽になった」という言葉頂いたり笑顔に接したときですね。

(質問) 今夢中になっていることはありますか。

(答え) 海釣り、広く浅く色々なスポーツをすることです。

『かたくり』の取材協力感謝いたします。今後も中高生競技者の体調調整と地域の皆さんのために頑張ってください。

町内会主催親善ゴルフ大会結果

町内会主催の「第42回本所1丁目(秋季)親善ゴルフ大会」が去る10月2日(日)三条市下田城カントリークラブで開催され、3区在住の香田和則さんが優勝されました。上位入賞者(3/18)

1. 香田和則さん、2. 岡田能隆さん(BG賞)、3. 池田正広さん。
優勝者プロフィール
新町出身、長年本所地内でプレス会社を経営され近年引退。ゴルフ歴30年。74歳

優勝者コメント

ゴルフは長くしていますが余り上手な方ではなく、この大会での優勝経験もありませんでした。仕事を引退してから時間ができてネーブルの健康教室に通ったり、練習時間を増やす中で



体の切れが良くなってスコアも上がってきました。まさか優勝などとは思っていませんでしたが本当に嬉しいです。

大会幹事より

今年は春、秋の大会共に天候に恵まれたことと、大勢の参加を頂いたことで無事大会運営の責任を果たすことが出来て感謝しております。

また来年も計画したいと考えておりますので参加並びにご協力の程宜しくお願いいたします。詳細は『かたくり』にて

表紙写真

山谷クリニックさん付近の紅葉した街路樹です。筆者は2003年に本所住民になりましたが当時この道路は全通しておらずロケット公園付近で途切れていました。また銀杏も小さくて今成長した樹を見ると時の流れを感じます。

銀杏にはオス木とメス木があってオス木には実がならないそうです。ですから同時期に植えられた街路樹でも実がなる木、ならない木があるのです。

苗木の段階で雌雄を見分ける方法があると聞いたことがあります、実際には非常に難しいそうです。また、実は悪臭があることから公園などではオス木が重宝されるようです。